

津山市のごみ減量の 取り組みは

日本共産党津山市議団 美見みち子



質問↓津山市のごみ減量の取り組みはどのようになっていくのか。

答弁↓平成十四年度から、ごみ減量の五年次ごとの行動計画を実行に移してきた。

年度はリサイクル率二一・七%で全国平均一五・九%よりかなり高い。現在は、事業系ごみの減量のためのマニュアル作成を進めている。十九年度から

の新たな「行動計画」の策定も予定している。

質問↓平成十三年度にごみゼロ推進係を

一名増やしたが、その成果は。

答弁↓廃プラスチック包装の分別等、一定の成果を上げている。また、スーパーとの懇談会や、アパート対策で不動産業者との懇談会等新たな取り組み、市民への啓発に努めている。

行政課題は山積、 対策を急げ

津山再生クラブ 権田直良



質問↓アルネにかかわって県支援金二十億円、「知事との固い約束」も、「十五年分制で支払う」と言ったこともすべて空手形、どうなっているのか。

◎学校校務員の扱いは安全安心の施設といえるのか。◎耐震テストを急げ。◎中学校給食の扱いがどうなのか。◎中学校給食、検討委員会の答申案にどう応えていくのか。◎地産地消で安全安心の食材は地元から

のはずだ。どうなっているのか。

答弁↓県支援については引き続き要望し

ていく。学校施設は子どもが一日の大半を過ごす学習、生活の場。何よりも「安全・安心」は重要。今後とも適正に対応していきたい。中学校給食については地産地消も重要な課題と考えている。学校の態勢整備も課題であり運営形態も含め検討を進めたい。

子どもたちの安全は 守られているのか

津山新星会議 佐々木裕子



質問↓自主防災・防犯組織の組織率は。

答弁↓自主防災組織の組織率は一四・〇

%、防災組織と重複しているが防犯組織の組織率は一六・七%となっている。

質問↓組織率を上げるための支援はどの

ようにしているか。

答弁↓「自主防災・防犯組織づくりの手

引き」を作成し、希望のある町内には説明会を開催している。

質問↓北小児童の事件が解決していない

演習場問題は 重要施策である

みどりの会 川崎修



質問↓総合計画の中での位置付けは。

答弁↓演習場を取り巻く諸問題には承知

している。市の重要施策として総合計画に位置付けをする。住宅防音についても実現に努める。

質問↓農業施策の方向は。

答弁↓建設的な施策については、全市的に拡大を図っていく。行政と農協の範囲が異なることの難しさは解決しなければならぬ問題である。十八年度の

当市は、もつと危機管理体制を強化する必要がある。大阪府池田市では危機管理課を設置し、希望者にメールで不審者情報などを提供している。防災無線の設置に併せ、当市もメールの活用を考えてはどうか。

答弁↓防災無線の検討の中でメールの活用もあがっている。メールを導入することになれば防犯にも活用したい。

水稲作付目標数量の配分は一律配分の予定である。

質問↓児童の運動能力、肥満児の実態は。

答弁↓全国平均を男子はやや上回り、女子はやや下回っている。肥満児も少数であるが、右肩上がりである。教育委員会・福祉健康部共に食育の重要性を痛感している。

津山高専のロボコン全国優勝おめでとう。